

神奈川県立 こども医療センター ごあんない



🍀 基本理念

こどもの健康の回復及び増進と福祉の向上のため
最善の医療を提供します。

🍀 わたしたちのちかい

あなたの「げんき」と「えがお」のために
みんなでちからをあわせます。



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター

概 要

神奈川県立こども医療センターは、昭和 45 年に設置された小児専門病院です。

こども専門病院（340 床）及び障害児入所施設（90 床）からなり、病気や障害のあるこどもたちに医療と福祉を一体として提供している総合医療・福祉施設で、各専門診療科、医療技術部門、看護局、施設が相互に連携してチーム医療を行うとともに、こどもの発達に則した包括医療、高度医療を提供しています。

病院には ICU 病棟、ハイケア・救急病棟、クリーン病棟、こころの診療病棟など 10 の小児病棟と、新生児病棟、NICU 病棟、母性病棟、MFICU 病棟のあわせて 14 の病棟があります。

また、入院・入所中のこどもたちが通学する神奈川県立横浜南養護学校がセンター内にあります。

当センターは、これまでの取組みが評価され、平成 25 年 2 月に全国 15 機関が指定された「小児がん拠点病院」の 1 つとなりました。

今後も患者さんにとって最善の治療を提供するとともに、臨床研究所を中心に臨床研究にも力を入れてまいります。

基本方針

- 1 患者さんの命と安全を第一に考えます。
- 2 患者さんご家族とともに医療を行います。
- 3 高度、先進的な医療を行うとともに、積極的に臨床研究に取り組みます。
- 4 こどもの発育、発達を考えた療養環境、教育環境を整えます。
- 5 周産期・小児医療と保健・福祉に携わる人材育成に努めます。
- 6 地域の関係機関と連携し、周産期・小児医療の充実、向上に貢献します。
- 7 透明度の高い病院運営と情報公開に努めます。



病院のこども憲章

- 1 こどもたちに、安心して治療が受けられる環境を整えます。
- 2 ご家族が積極的に治療に参加できるよう配慮します。
- 3 こどもたちやご家族は、自らの健康に関する決定において十分説明を受けて治療に参加する権利を有し、不必要な医療処置や検査から守られます。
- 4 こどもたちは、身体的・精神的・社会的苦痛の緩和を求めることができます。
- 5 こどもたちや親たちは、年齢や理解度に応じた方法で説明を受けられます。
- 6 こどもたちは、こどもたちやご家族の身体的、情緒的、発達のニーズに応えられる訓練を受け、技術を身につけたスタッフによりケアされます。
- 7 こどもたちは、年齢や症状にあったあそびや教育が提供され、スタッフが配属された環境におかれます。
- 8 こどもたちやご家族のプライバシーはいつでも守られます。
- 9 こどもたちのケアの継続性に配慮します。





❀ 医療局

総合診療科 救急・集中治療科
血液・腫瘍科 内分泌代謝科
感染免疫科 腎臓内科 遺伝科 輸血科
アレルギー科 神経内科 循環器内科
外科 整形外科 リハビリテーション科
形成外科 脳神経外科 心臓血管外科
皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻いんこう科
放射線科 歯科 麻酔科 病理診断科
児童思春期精神科 新生児科 内科（母性）
産婦人科

❀ 医療技術・発達支援局

放射線技術科 検査科 薬剤科 栄養管理科
臨床工学科 臨床心理科 言語聴覚科
理学療法科 作業療法科

❀ 医療情報管理室

診療録の管理や院内がん登録事務、総合医療情報システム、院内 LAN の管理、高度医療セクレタリーなどを行っています。

❀ 医療安全推進室

医療安全に関わるルールを整え、情報収集や情報発信を行い、組織横断的に医療の安全を推進します。

❀ 感染制御室

院内感染防止と近隣（市中）で流行している感染症の院内拡大防止を目的に感染対策を推進しています。

❀ 緩和ケア普及室

患者さんご家族の身体的・精神的・社会的苦痛を軽減するための支援活動や地域の医療機関等への普及・支援を推進します。

❀ 地域連携・家族支援局

（地域医療連携室、医療福祉相談室、退院・在宅医療支援室、母子保健推進室、小児がん相談支援室）
受診するお子さんご家族の療養生活に関する相談を受けています。
保健医療福祉関連情報の収集や提供に努め、地域医療機関と連携し、在宅医療を支援します。
地域医療に携わる医師・看護師・保健師等の研修を行います。

❀ 臨床研究所

（臨床研究室、治験管理室、図書室）
臨床研究室では各種の研究の他、研究活動の総合的な調整や支援を行っています。
治験管理室では小児治験を推進しています。
図書室では職員の研究のための学術書を所蔵するとともに、患者さんご家族向けの外来図書室を運営しています。

❀ 看護局

外来看護科、14 の病棟看護科、中央手術室看護科、2 つの福祉施設看護科と看護教育科があり、日々の看護と看護師の育成にあたります。

❀ 肢体不自由児施設

四肢や体幹変形、機能障害を持つお子さんが入所し、手術やリハビリテーションを行うことによって機能の回復と自立を目指す施設です。

❀ 重症心身障害児施設

重度の知的障害と肢体不自由を合わせ持つお子さんが入所し、医療を受けながら生活する施設です。

❀ 事務局

総務課、経営企画課、医事課があり、庶務事務、経営並びに施設の管理、医事事務等を行っています。



当センターは、医療機関や保健所等からの「紹介予約制」で、産婦人科・母性内科を除き原則 15 歳以下の患者さんを対象に診療を行っています。



アメニティ

本館には、少しでも温かく、うるおいのある療育環境をめざし、多くの方々の協力により、たくさんのアートワークが展開されています。



- 授乳コーナー・通路のステンドグラス
- 祈りの部屋のレリーフ、ステンドグラス
- 病棟、外来通路のアート
- 外来待合のオリジナルデザインのベンチ
- 壁面・吹き抜けの動物ピース、モビールなど

病棟学習室・プレイルーム、外来プレイコーナーには、学習教材、遊具、家具などが寄付により整備されています。



患者図書室

本館 1 階に入院や通院中のお子さんとその家族のための図書室があります。この図書室は、お子さんや家族が病気のこと、障害のこと、受けている治療や検査、飲んでいる薬のことなど、担当医からの説明をもっとよく理解していただくことを目的に、病気の解説書や闘病記、患者会資料などを提供しています。閲覧と図書の貸出し、学習や宿題をするスペースがあります。



新しい命のためのサポートセンター

「新しい命のためのサポートセンター」は、先天的な病気、遺伝子に関係する病気のある患者さんご家族のためのカウンセリング窓口で、平成25年4月に開設しました。

専門の医師・遺伝カウンセラー・専門看護師のカウンセリング・相談を受けることができます。医師の紹介状は原則として不要です。

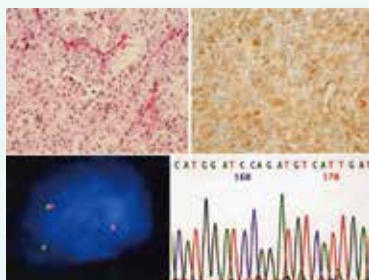


臨床研究所

臨床研究所は臨床研究室、治験管理室、図書室の3室で構成されています。

臨床研究室では、疫学研究部門、ゲノム解析研究部門、病態機能解析研究部門、分子細胞病理研究部門、看護・医療支援研究部門等の研究部門に分かれて活動しています。

所内各科の構成員が連携して共同で研究に協力できる体制を整え、さらに互いに啓発し、研究を促進することを目標としています。

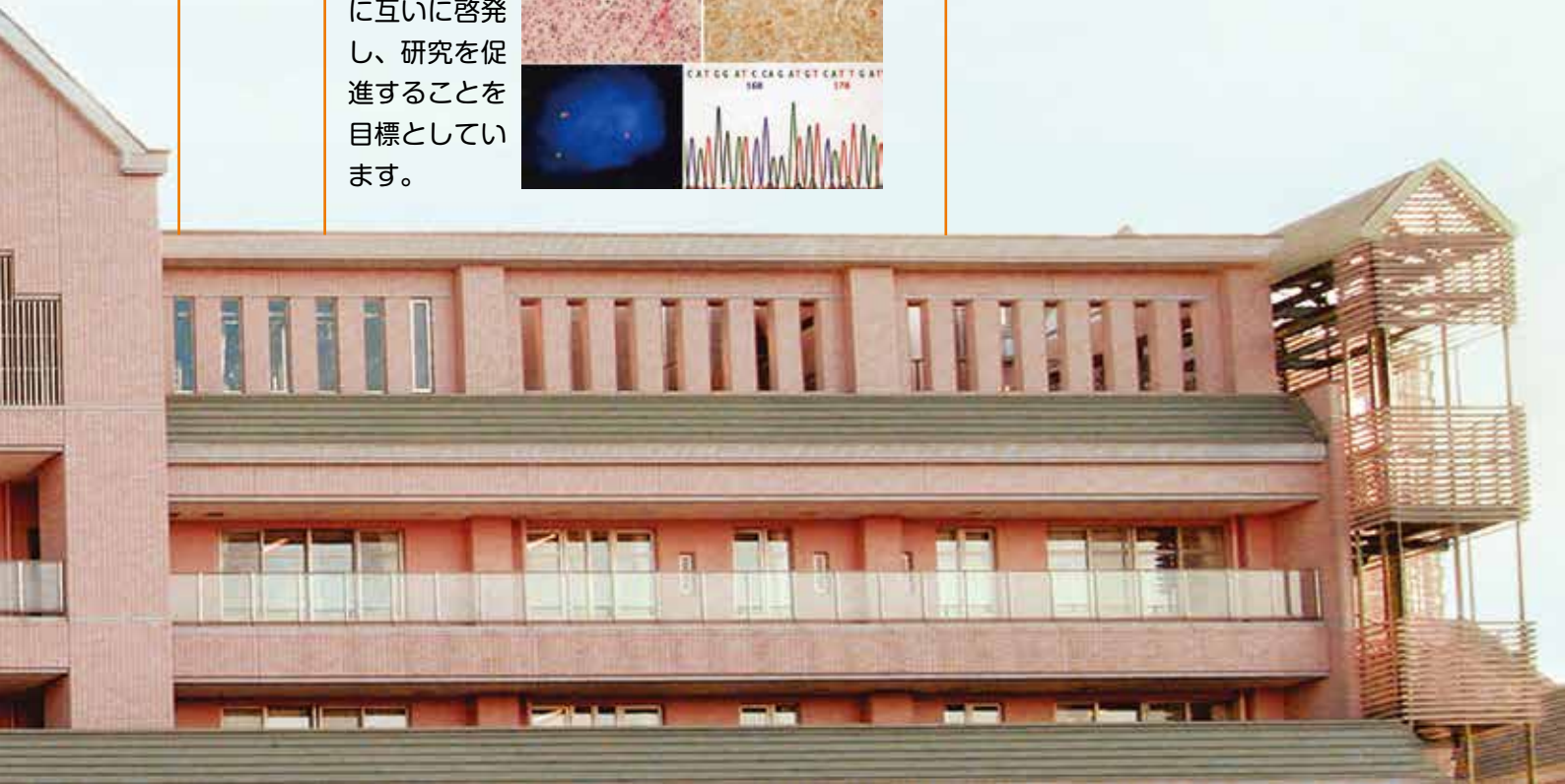


神奈川県立横浜南養護学校

当センターには、神奈川県立横浜南養護学校が併設されています。

こどもの病状や体調、学習の進度などに合わせて、病棟を訪問してのベッドサイド授業、学年別クラスでの授業、重症心身障害児施設での個別・小グループ活動など、さまざまな工夫による指導・支援が行われています。

運動会、文化祭、修学旅行なども行っています。





✿ こどもの健康セミナー等の開催

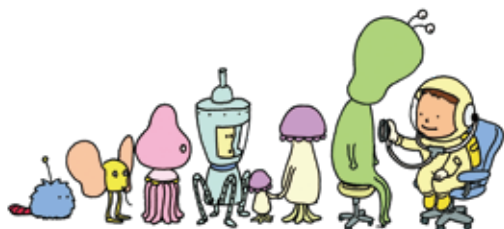
当センターは、こどもの専門医療施設として、多くの小児難病の治療や生活指導に携わっています。

こうしたことから、平成 14 年度より、当センター職員を講師とする「こどもの健康セミナー」等を開催し、毎回、わかりやすくニーズの多いテーマを取り上げ、多くの県民の方々に参加いただいています。

✿ ボランティア活動

当センターのボランティア活動は、「オレンジクラブ」と総称します。

現在、約 300 人のボランティアが、外来、病棟、お話、作業、縫製、手作りの会などに所属し、活動しています。



✿ ピアサポーター

病気や障害のある子どもを育てた経験のある保護者による相談業務を行っています。

■火曜日～金曜日 10 時～15 時

■本館 1 階患者図書室

✿ 小児がんセンター

当センターは、平成 25 年 2 月に厚生労働大臣より「小児がん拠点病院」に指定されるとともに、平成 27 年 4 月には横浜市の「小児がん連携病院」に指定されました。こうした指定を受け、平成 27 年 6 月には、組織横断的な院内推進組織として「小児がんセンター」を設置しております。

「小児がんセンター」では、関連する職種が連携して診療、臨床研究、相談などに取り組むとともに、地域全体の小児がん診療の質の向上に努めます。



✿ メディカルゲノムセンター

メディカルゲノムセンター（MGC）は、神奈川県におけるゲノム医療の中核施設としての体制整備、小児希少・未診断疾患イニシアチブ（IRUD-P）のクリニカルセンター（拠点）、ゲノム医療にかかわる人材の育成、小児希少難病研究支援、等を目的に平成 27 年 11 月に設置しました。ゲノム情報をどのように診療に役立てるか、バイオインフォマティクス専門家も含めた多職種からなるチーム MGC が課題に取り組めます。

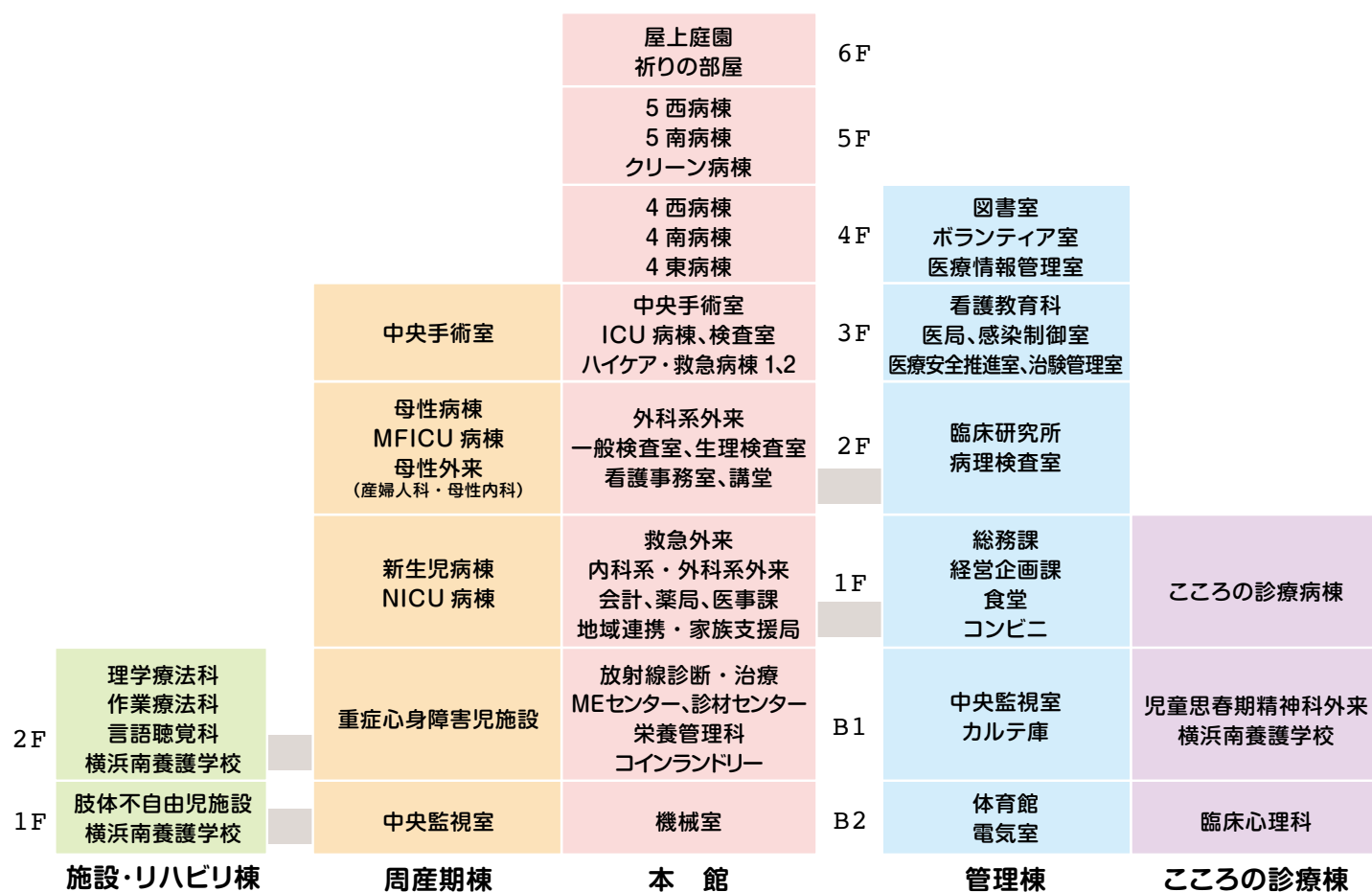
✿ ファシリティドッグ「アニー」

当センターには、こどもたちの検査に付き添ったり、歩行訓練を手伝うなど、治療に関わる活動を補助するファシリティドッグが常勤で勤務しています。

看護師として臨床経験のあるハンドラーとともに活動を行うことにより、当センターで治療を続けるこどもたちのストレスや不安を解消し、治療への勇気を持ってもらうとともに、患者さんの小さなきょうだいやご家族にも癒しと楽しみを与えています。



施設全体配置図



病 棟		病床数	内 容
本 館	5 階 西病棟	30	内科系幼児・学童 日帰り入院
	5 階 南病棟	29	内科系乳幼児 日帰り入院
	5 階 クリーン病棟	15	骨髄移植、化学療法
	4 階 西病棟	30	内科系・外科系学童・思春期 日帰り入院
	4 階 南病棟	30	外科系乳幼児 日帰り入院
	4 階 東病棟	29	外科系幼児・学童 日帰り入院
	3 階 ICU 病棟	10	集中治療
	3 階 ハイケア・救急病棟 1	14	救急患者、ICU 退室後患者など
	3 階 ハイケア・救急病棟 2	29	救急患者、ICU 退室後患者など 内科系・外科系患者
こころの診療病棟		40	児童思春期精神科
周産期棟	2 階 母性病棟・MFICU 病棟	30	母性 (24 床) … 一般の妊産婦 MFICU (6 床) … 妊産婦の集中治療
	1 階 新生児病棟・NICU 病棟	54	新生児 (27 床) … 急性期治療後の新生児 NICU (27 床) … ハイリスク疾患・急性期治療
病院合計		340	
障害児 入所施設	施設・リハビリ棟 1 階	90	肢体不自由児施設…… 50 床
	周産期棟 B1 階		重症心身障害児施設… 40 床
センター合計		430	

患者・家族滞在施設 「リラのいえ」

「リラのいえ」は、患者さんご家族のための宿泊滞在施設です。

経済的な負担を減らし、精神的な支えとなることを願い、認定NPO法人スマイルオブキッズと当センターが協力して管理・運営しています。きょうだい児預かり保育も行っています。

〒232-0066

横浜市南区六ツ川4-1124-2

TEL 045-824-6014



サービス

■食堂

(管理棟1階)

平日	朝食	7:30 ~ 11:00
	昼・夕食	11:00 ~ 19:30
土日祝	昼食	11:00 ~ 15:00
	夕食	16:00 ~ 18:00



■コンビニエンスストア

(管理棟1階)

8:00 ~ 21:00



■コーヒーショップ

(本館1階)

平日	7:30 ~ 19:00
土日祝	10:00 ~ 17:00



交通案内

神奈川中央交通バス利用

■京浜急行「弘明寺駅」より

(徒歩3分) ●バス停「弘明寺口」乗車

- 「井10」系統・「子ども医療センター」行き
- 「東01」系統・「東戸塚駅東口」行き
- 「横44」系統・「戸塚駅東口」行き
- 「戸45」系統・「戸塚駅東口」行き

■JR「東戸塚駅」東口より

- 「東01」系統・「井土ヶ谷下町」行き

■JR「戸塚駅」東口より

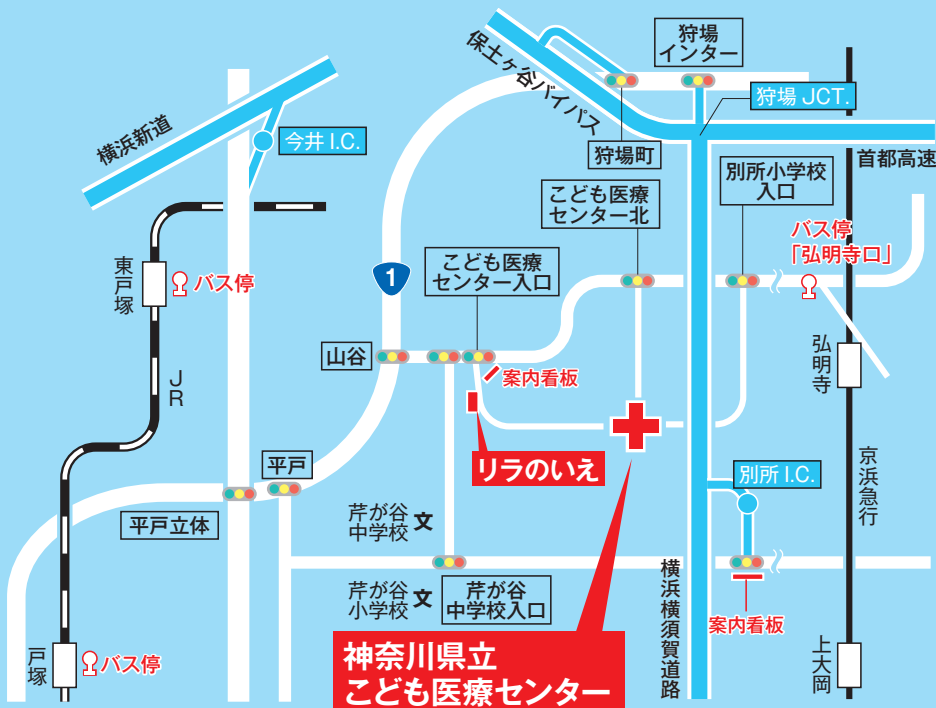
- 「横44」系統・「横浜駅東口」行き
- 「戸25」系統・「子ども医療センター」行き
- 「戸45」系統・「桜木町駅」行き

■JR他「横浜駅」東口より

- 「横44」系統・「戸塚駅東口」行き

いずれも ●バス停「子ども医療センター」下車

できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。



イラスト協力：ヨシタケ シンスケさん